

酸素

① 酸素投与の方法の違いと FiO₂ との関連は？

- ◇ 経鼻 Max _____ L/Min: 理由は _____
- ◇ マスク
- ◇ リザーバー付マスク

② 通常、二酸化炭素濃度が上昇すると、呼吸が【 促進・抑制 】される。慢性的に CO₂ が貯留されている方(代表的な疾患は _____)では、CO₂ の上昇では呼吸は刺激されず、O₂ 濃度が【 低下・上昇 】すると、呼吸が促進される。COPD の方が何らかの理由で低 O₂ に陥ったとき(急性肺炎など)に、高濃度の O₂ 投与を行うと O₂ 濃度が高くなり、呼吸が【 促進・抑制 】され、結果として CO₂ が貯留してしまう。これを(_____)という。

※ SpO₂ 93%は悪いですか？(再掲)

経鼻エアウェイ

③ 経鼻エアウェイを挿入する理由は _____ にある方の気道を一時的に確保するものである。サイズの違いは _____ と _____ である。侵襲の高い処置であるので、医師の到着を待つまで _____ することもいい。

④ 去痰困難例では吸痰チューブで処置をするが、【 経鼻・経口 】の方が取りやすい。また気管に小さな孔をあける方法があり、当院では _____ と _____ がある。緊急性と安全性(と医師の好み)で選ばれる。

気管挿管

⑥ 可能ならどんな手順で行うかを理解のうえ、補助できるとよい。医師のスキルも重要であるが、大切なことは _____ (手技前)と _____ (手技中)である。 _____ と _____ を意識し、固定する(院内の決まりは・・・?)。

CVC

⑦ 下記の3つの違いはわかりますか？(NST/安全管理でも聞いたことはありますよね?) 推奨は？

- ◇ CVC: central venous catheter or _____ カテ
- ◇ TPN: total parenteral nutrition
- ◇ IVH: intravenous hyperalimentation

末梢点滴

⑧ ガイドラインとしては、末梢の留置針は _____ 時間毎の交換が推奨される。なお、血管炎を起しやすい輸液としては、糖濃度の高い輸液: _____ (例)や _____ 製剤によるもの、特別な薬剤: _____ (例)がある。なお、通常の補液ではカロリーがほとんどないことに注意する: 例 ソルデム 3A 500ml は _____ kcal = _____ ぐらい。であるので、感冒症状やしんどいことに対して、栄養のある点滴して欲しい、ということは純粋医学的には問題があることを医療者として理解しておく必要がある。

⑨ CVC でも末梢点滴でも、 _____ の炎症の所見がないかどうかを意識する。皮膚の炎症の所見がなくても、カテーテル関連の感染症を来していることも起こりえるので、発熱があった場合には _____ 採取の必要性を考える。そのため不要になったときには早急に _____ を検討する必要がある。特に _____ に挿入されている CVC は感染の確率が高いので注意が必要である。

⑩ カテーテル関連の感染症では、_____の扱いに注意する。単包型の_____を用いても、触り方しだいでは不潔になりえることに留意する。また_____製剤の投与は可能であれば【末梢・中枢 = CVC】からの投与が望ましい。

マーゲンチューブ？ NGチューブ？

⑪ 鼻から胃に入れるチューブは、_____と呼ばれることが多いが、「_____ (ドイツ語)」と「_____ (英語)」の由来を考えると、造語であることがわかる。正式には_____チューブ: nasogastric tube である。なお、厳密に言えば、細いチューブは_____チューブと呼ばれ、正式には_____に留置される。

⑫ 挿入後の確認は、通常_____であるが、最終的には_____で確認する。(院内ルールは・・・?)

胸腔ドレナージ

⑬ ドレナージチューブを留置する病態は、空気をドレナージする(_____)と液体をドレナージする(_____)がある。一般的に液体をドレナージする方が、管は【太い・細い】ものを用いる。胸水ドレナージのためのチューブ留置では、_____の予防のため、1日あたり_____ml までの排液としている。そのため、周囲からの漏液が初日は多い可能性がある。空気のドレナージは制限がないので、_____が見られたら、誤挿入や交通が途絶えた可能性を考える。

⑭ ダブルルーメンのチューブを用いるときは、胸膜の癒着を図る場合(_____)と内容物を溶かす場合(_____)があり、薬剤を清潔操作で注入するためにも、ダブルチューブが用いられる。

⑮ 管理のうえでは、チューブが交通しているかどうか、(_____)を見て確認する。交通が不十分な際は、どこかで折れ曲がっていないかどうかを確認する。

尿道カテーテル

⑯ 尿道カテーテルを留置する理由としては、① 通過障害: _____・_____などでの腎後性腎不全、② 併存の部分もあるがドレナージ目的: _____、③ 利尿薬の効果や循環動態測定の目的: _____などがある。尿道カテーテル関連の感染症は、1日ごとに_____%の発症の可能性があるとも言われているので、不要に長期留置になっていないか注意をする。尿路感染症の可能性があれば、_____を提出のうえ、抗菌薬投与を行うが、_____の交換も意味がある可能性がある。バッグが紫色になることがあるが、これは_____によるもので、【あまり問題ない・大問題である】。

⑰ 逆流が起こらないようにバルーンバックを置く位置(_____)に注意する。また_____は基本的に行わない。

ルート全般

⑱ どのルートでも、_____発症の可能性を常に考え、可能な範囲で早期_____を検討する。また、持続のチューブがあると_____の原因にもなり、_____の低下(ベッド上に固定っぽい)にもつながる可能性がある。持続点滴をするか、ルートのロックをするかの問題には、_____と_____のバランスがある。

外科的なルートについての言及がなくてすみません！

お疲れ様でした！